

平成23年度

施政方針並びに施策の概要



子育て応援・子供たちに希望を、

地域・若者に活力を、

市民生活・高齢者に安心を

平成23年2月

朝来市長 多次 勝 昭

朝来市平成 23 年度予算の概要

「 夢を叶える行動の年 」

本年度を市民の皆様と共に「**夢を叶える行動の年**」として位置付け施策を積極的に推進していくよう考えています。

私の目指すべきまちづくりは、「**対話を基調とする心優しい温もりの市政の実現**」であります。

この基本的な理念に基づき、平成 23 年度の朝来市予算の基本方針を、「**元気、安心・安全なまちづくり**」としています。

更に、重点施策には「**子育て応援・子供たちに希望を、地域・若者に活力を、市民生活・高齢者に安心を**」を掲げています。

1 本年度予算の概要

予算額

	23 年度	22 年度	比較
一般会計	201 億 60 百万円	185 億 20 百万円	+8.9%
特別会計	86 億 86 百万円	85 億 96 百万円	+1.0%
企業会計	13 億 06 百万円	13 億 07 百万円	-0.1%
合計	301 億 52 百万円	284 億 23 百万円	+6.1%

◎ 一般会計の予算規模で、200 億円を超えたのは 6 年ぶりであり、地域経済に配慮した積極予算となっています。

◎ 市内の景気対策、新市まちづくり計画の実施に伴い、昨年度と比較して全体予算で 6.1% の大幅増額としました。一般会計では、8.9% の伸びとなりました。

平成 23 年度予算が大きく伸びた主な要因は、「市内の 3 認定こども園の整備」「竹田暮らしの交流館整備」「山東工業団地関連整備」「南但ごみ処理場整備」等の本格工事に着手すること、「インフルエンザ等感染症対策」「保育料の軽減」などの安心・安全なまちづくりを推進することによります。

財政規律

◎プライマリーバランスの黒字

一般会計における市債の償還を 32.53 億円行いますが、新たに市債を 27.69 億円発行し、市債の残高は差し引き 4.84 億円が減少します。

この結果、平成 23 年度末の一般会計市債残高は、308.39 億円の見込みとなっています。

実質公債費比率は、平成 20 年度の 20.0%から、1.1 ポイント改善し、平成 21 年度は 18.9%に改善しています。

◎経常収支比率

平成 23 年度	平成 22 年度	平成 21 年度
94.9%	95.0%	97.8%

経常収支比率は改善傾向にあるものの 94.9%と依然として高く、財政構造は硬直化していることがうかがえます。今後、一層の行財政改を推進し、経常経費の削減が必要です。

2 歳入・歳出のポイント

歳入

	平成 23 年度	平成 22 年度	比較
市 税	4,371,951 千円	4,481,951 千円	-2.5%
地方交付税	6,530,000 千円	6,550,000 千円	-0.3%
臨時財政対策債	1,050,000 千円	1,200,000 千円	-12.5%
市債(臨財債は除く)	1,719,100 千円	725,800 千円	+136.9%

- ◎ 市税は、企業の撤退・縮小など景気の落ち込みにより法人市民税、固定資産税の落ち込みが見込まれます。
- ◎ 地方交付税は、国勢調査による人口減により減少が見込まれる一方、税収の落ち込みにより交付税の増額が見込まれることから、これらを踏まえほぼ前年度並みを見込んでいます。
- ◎ 臨時財政対策債は、地方財政計画に基づき対前年度比、12.5%の減額を見込んでいます。
- ◎ 市債は、認定こども園整備や南但ごみ処理場建設などの大型事業を進めることから、事業の財源に対応した市債が大きく増加しています。

歳出

	平成 23 年度	平成 22 年度	比較
人件費	3,568,603 千円	3,569,263 千円	± 0.0%
扶助費	2,247,469 千円	1,885,417 千円	+19.2%
公債費	3,752,808 千円	3,725,410 千円	+ 0.7%
投資的経費	2,030,949 千円	1,408,513 千円	+44.2%

- ◎ 人件費は、職員適正化計画を上回る職員数の減となっていますが、議員年金廃止に伴う負担金、職員の退職者増の伴い退職手当組合の負担金が増加するためほぼ前年度と同額となっています。
- ◎ 扶助費は、子ども手当の制度が本格導入される予定であり、対前年度と比較して、率で 19.2%、金額で 362,052 千円の増となっています。
- ◎ 公債費は、平成 17 年度に発行した「のじぎく債」を満期一括償還することなどで増加となっています。
- ◎ 投資的経費は、認定こども園建設、街なみ環境整備事業、山東工業団地整備事業等の実施で、前年度比較で 44.2%の増加となっています。

3 平成 23 年度予算の主な内容

「子育て応援・子どもたちに希望を」の施策

元気で安心して子育てできる環境を創り、朝来市の将来を担う子どもたちが、希望を抱き世界に羽ばたくことを目標としています。

1 「認定こども園の一層の推進」を図ります。(継続)

糸井こども園・竹田こども園・東河こども園の 3 園の整備と併せ、中川こども園・山口こども園の詳細設計に着手します。(別添資料有)

予算額 775,000 千円

2 「小学校・中学校の安心・安全な教育環境の整備」を推進します。(継続)

前年度から施工しています和田山中学校の屋内運動場は 3 月中に完成予定となっており、本年度からは校舎の耐震・大規模改修工事の本格設計を推進します。

予算額 30,829 千円

3 「感染症予防対策」を推進します。(一部新規)

小児の髄膜炎予防のワクチンが認可されたことから、小児を対象にヒブと小児用肺炎球菌ワクチンの全額公費助成、及び高齢者の肺炎予防のためハイリスク者へ肺炎球菌ワクチンの全額公費助成と高齢者インフルエンザの全額公費助成を行います。(別添資料有)

予算額 125,791 千円

4 「子育て医療制度の拡充」を継続します。(継続)

子育て支援を充実させるため、就学前の子どもの通院・入院医療費負担の無料化を継続します。

また、就学後から中学校 3 年生までの子どもの入院医療費負担の無料化を継続します。

予算額 54,840 千円

5 「保育料の負担の軽減」を継続します。(継続)

前々年度まで最高額 52,000 円であった保育料を、最高額 23,000 円に引き下げる措置を継続します。

予算額 79,166 千円

6 「市内中学校の国際理解教育」のさらなる推進をします。(継続)

中学校における国際理解教育の一環として行っている海外の中学校との交流事業は、市内各中学校の海外交流の機会均等を図り、すべての中学校が毎年海外交流の機会が受けられるようにします。

予算額 10,783 千円

7 「出生祝金制度」を創設します。(新規)

次代の社会を担う子どもの出生を奨励し、祝福し、もって健やかな育ちを応援するため、第三子以降の出生児に対し、お祝い金 10 万円を支給します。(別添資料有)

予算額 5,000 千円

8 「特定不妊治療費助成事業」を創設します。(新規)

現在、特定不妊治療に係る治療費が高額であり、県の助成制度に追加して治療に要する費用の一部を助成することにより、その経済的負担の軽減を図り、もって安心して子供を産み育てることのできる環境づくりを推進

します。(別添資料有)

予算額 2,500 千円

9 「少子化対策特別事業」を拡大・継続します。(継続)

地域福祉基金の果実を運用し、結婚コーディネーター支援事業、未婚者の交流支援事業を継続し、仲人登録者の増や積極的な交流事業の推進を図るとともに併せて朝来市子育て支援メニュー一覧リーフレットを作成するなど、事業拡大を進めます。

予算額 1,277 千円

10 「小・中学生の学力向上」を継続します。(継続)

本市では、小学校の1年生から中学校の3年生までの9年間を連続する学習の期間と捉え、系統性のある学習を進めます。そのため、小・中連携推進事業をさらに発展させ、つながりのある教育を進め、基礎学力の定着と向上を図ります。

予算額 76,946 千円

「地域・若者に活力を」の施策

若者が朝来市に定住でき、人口を減少させない元気な朝来市を目指します。

1 「山東工業団地整備事業」(継続)

山東町柿坪区周辺に約5ヘクタールの企業向け販売用地を造成します。本年度は、道路、公園、防火水槽の整備を行います。(別添資料有)

予算額 89,050 千円

2 「観光交流キャンペーン対応事業」(継続)

都市部へ積極的に出向き、観光PRを実施します。(別添資料有)

予算額 10,086 千円

3 「朝来市総合計画後期基本計画策定」(継続)

現行の総合計画前期基本計画が平成23年度に終了することから、平成24年度から平成28年度までの後期基本計画を議会の議決を得て策定することとしています。

予算額 5,620 千円

4 「朝来市商工会との連携事業」(一部新規)

朝来市商工会との連携を図り、市内商工業の活性化を図っていきます。

(別添資料有)

予算額 3,400 千円

5 「コウノトリと共に暮らす郷づくり事業」(新規)

国の天然記念物であるコウノトリを朝来市内に放鳥させる事業です。この事業は、県と共同で放鳥地の整備を進めるとともに、放鳥後のコウノトリのえさやり等の管理を行うことを目的としています。(別添資料有)

予算額 3,844 千円

6 「新市街地の整備」(継続)

県立和田山高校の南側の立ノ原地区及び枚田地区において、都市的土地利用としてふさわしい計画策定を行い、円滑な事業推進に努めます。

予算額 13,112 千円

7 「竹田街なみ環境整備事業」(継続)

竹田地区の街なみ保存と地域の活性化を目指す事業。本年度の主要な事業は、「たけだ暮らしの交流館」の建設工事です。(別添資料有)

予算額 266,356 千円

8 「中小企業支援融資事業」(一部新規)

「朝来市中小企業融資制度」の見直しや、「利子補給制度」「奨励金制度」を創設するなどして「やる気のある事業者」、「頑張る既存事業所」を支援します。

予算額 250,000 千円

9 「農業の支援事業」(継続)

市の特産品である「黒大豆・岩津ねぎ・ピーマン」の市単独助成を続けていきます。

また、農産物直売所における冬季期間の野菜を確保するため、野菜のパイプハウス設置に係る助成を引き続いて行います。

予算額 19,000 千円

10 「有害鳥獣対策」(一部新規)

有害鳥獣対策として、捕獲頭数に応じた報償金の支給や捕獲専任班の設置等年間を通じた駆除を積極的に実施します。

また、本市有害鳥獣対策協議会との連携によりシカ・イノシシ防護柵の資材費に対する助成を創設します。(別添資料有)

予算額 62,169 千円

1 1 「エネルギー施策事業」(継続)

平成 22 年度から進めております「新エネルギー・省エネルギービジョン」の策定を進めます。

予算額 10,349 千円

1 2 「支所提案型地域活性化事業」(新規)

各支所から提案のあった 27 事業について、事業実施します。

(別添資料有)

予算額 30,952 千円

1 3 「県民緑税充当事業」(継続)

「緊急防災林整備事業」や「針広混交林整備事業」の取組みを進めるとともに、「里山防災林整備」や「野生動物育成林整備」についても導入を強力に進め「災害に強い森づくり」を推進します。

予算額 140,504 千円

1 4 「カーボンオフセット事業」(新規)

企業など事業所が排出した二酸化炭素量のうち自力で削減できない部分を本市の森林整備への支援で相殺するカーボンオフセット事業を、本年度から本格的に取り組みます。(別添資料有)

予算額 2,231 千円

1 5 「まちづくり交付金事業(駅前地区)」(継続)

潤いとゆとりが感じられるまちを創造する事業。本年度は、公園整備、道路の美装化工事を行います。(別添資料有)

予算額 95,252 千円

1 6 「地域協働」(継続)

地域自治協議会への財政支援を継続的に行うとともに、区、団体等が実施する地域づくり支援事業、区集会施設整備についても支援をし、コミュ

ニティづくりの推進と地域力向上を支援します。

予算額 97,914 千円

「市民生活・高齢者に安心を」の施策

少子高齢化が進行している本市として、健康で安全な暮らしを積極的に推進します。

1 「地域医療の充実」(継続)

本市の地域医療のあり方について、調査・検討します。

予算額 5,304 千円

2 「高齢者等の安心した生活」(継続)

障害や持病があるなど日常生活に不安を感じておられる一人暮らし、若しくは高齢者のみ世帯宅を対象とした、緊急通報システム運営事業を推進します。

さらに、介護認定を受けておられる方や障害者の方で、通院に要する交通費の一部を支援する外出支援サービスを引き続き推進します。

予算額 12,024 千円

3 「介護保険制度・保健事業」(継続)

平成24年度からは第5期介護保険事業計画期間となるため、本年度においては第5期の介護保険事業計画を、市民代表を交えて策定します。

介護保険制度の利用や高齢者の総合的な相談、支援を地域包括支援センターが行っていますが、生野生活圏域の高齢者を対象とした生野地域包括支援センターを新年度4月に開所します。

予算額 521,569 千円

4 「がん予防体制」(一部新規)

新規事業として、40歳から60歳を対象とした働く世代への大腸がん無料検診を実施します。また、女性特有のがんのうち子宮がん検診と乳がん検診の無料実施と、子宮頸がん予防のため中学生と高校生を対象に子宮頸がん予防ワクチンの全額公費助成を行い、市民の健康を守る取組みを推進します。(別添資料有)

予算額 38,107 千円

5 「あさご健康・医療相談ダイヤル 24」(新規)

市民の急な病気やケガなどの医療相談をはじめ、健康、介護、育児、メンタルヘルスなどの相談、最新の夜間・休日の医療機関の案内等を、24時間年中無休、通話料無料(フリーダイヤル)、相談料無料の電話相談サービス事業を実施し、若い世代から高齢者まで、安心して生活できる環境づくりを提供します。(別添資料有)

予算額 3,368 千円

6 「障害福祉サービス事業所」(新規)

平成 22 年度において市内小規模作業所等の再編を完了し、本年度から障害者自立支援法に基づく障害福祉サービス事業所として就労継続支援事業、生活介護事業、児童デイサービス事業等新たなサービスを提供し、障害者の自立につながる事業を進めます。

予算額 413,846 千円

7 「兵庫県・但馬 3 市 2 町合同防災訓練」を実施します。

本年 9 月、本市をメイン会場に、県、県下市町、消防、警察、自衛隊、その他防災関係機関を交えた「兵庫県・但馬 3 市 2 町合同防災訓練」を実施します。

予算額 1,327 千円

8 「路線バス等活性化対策事業」(継続)

市民の足であるアコバス、路線バスを利用実態調査等を検証した上で、より効率的、効果的な運行が図れるように地域の実情にあった運行形態に改編していきます。(別添資料有)

予算額 5,808 千円

9 「健康づくり、食育活動事業」(継続)

市民の健康の保持・増進を図るため、平成 22 年度末に健康増進計画の後期計画と食育推進計画を合わせた「健康あさご 21」を策定しています。この計画を基に市民の健康づくり、食育活動を支援します。

また、保険者が実施する 40 歳からを対象とする特定健診を、国保の被保険者以外の 30 歳代も対象に拡大して実施し、運動施設利用助成事業に加えて、運動施設を利用した健康づくり事業を新規に展開し、若い年代からのメタボリックシンドローム等の生活習慣病対策の体制を強化することによ

り、市民の健康づくりの推進に努めます。

予算額 3,008 千円

1 0 「常備消防体制の強化」(継続)

はしご付消防自動車の安全基準に基づき、はしご車のオーバーホールを実施し、中高層建築物火災等の消防活動に万全を期します。

さらに、救急救命士や認定救急救命士の養成と、消防職員の各種研修機関への派遣を積極的に行い、時代に即応した消防・救急活動の推進に努めます。

予算額 21,286 千円

1 1 「橋梁長寿命化修繕計画策定事業」(継続)

橋梁の長寿命化を推進するため、点検と維持管理の計画を策定します。

予算額 23,000 千円

1 2 「市道新設改良事業」(継続)

市道の新設改良を推進し、安全・快適な道路環境を創造します。

予算額 102,200 千円

1 3 「地上デジタル完全移行に伴う施設整備及び相談窓口」(一部新規)

本年7月の地上デジタルの完全移行に伴う施設整備と市民からの問い合わせ等に迅速に対応するため、専門スタッフの配置や専用フリーダイヤル電話を設置して、市民相談窓口サービスを設置します。

予算額 162,275 千円

朝来市行財政改革等の項目

1 「基金問題の対応」(継続)

売り手である金融機関との相対交渉を速やかに進めます。

2 「新庁舎建設」(継続)

新庁舎建設に向けた、調査、研究を進めます。

予算額 15,060 千円

3 「行財政改革」(継続)

前年度試行的に実施した外部評価を、引き続き市民の視点から事務事業の評価を行い、事務改善に取り組んでいきます。

予算額 1,028 千円

4 「養父市との共同事務処理」(継続)

既に、養父市とは、電算業務、南但ごみ処理施設の建設、農業共済事業などの共同化を行っていますが、さらなる行政の効率化、行政経費の削減を目指します。

5 「南但ごみ処理施設の建設事業」(継続)

全国では初めてとなるバイオマス施設と熱回収施設(焼却施設)とを組み合わせた高効率原燃料回収施設とリサイクルセンターを整備し、来るべき循環型社会に対応する安全・安心な施設として、平成25年度の稼働を目標として事業を支援していきます。

予算額 683,692 千円

以上、平成23年度予算の主な内容です。